



2021年10月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 高橋 治
 編集責任者 白江 浩
 編 集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022 (243) 1300
<http://www.arinomama.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

打ち上げ花火に鎮魂の思いを込めて

悪天候のため残念ながら2カ月続けての中止



太白ありのまま舎では毎年茂庭台地区夏祭りに合わせて花火の打ち上げを行っています。昨年は新型コロナウイルスの影響で夏祭りが中止となり、ありのまま舎独自の企画で花火の打ち上げを行いました。今年も夏祭りが中止となり当舎で花火の打ち上げを準備していましたが、雨風の影響で8月は延期となり、9月も残念ながら台風の影響で中止の判断となりました。10月以降も検討しましたが、気温低下が予測されるため入居者への負担を考慮し中止となりました。

打ち上げ花火は国立療養所西多賀病院(仙台市太白区)に入院していた仲間たちが七ヶ浜の海辺で「ハレ晴れ村キヤンプ」を行い、亡くなった筋ジス患者への弔いの意味を込めて行ったことが始まりです。鎮魂の思いを途切れさせないために毎年打ち上げ花火を行っています。また昨年はコロナ禍で夏のイベントが中止となり夏の景色を地域の方に楽しんでいただきました。



昨年の打ち上げ花火の様子

3密を避けるため地域の方には告知はせず進めていきましたが、2カ月続いて開催ができません。大変残念に思います。その様な中で、亡くなった筋ジス患者の仲間のために花火を打ち上げた意味を思い返し、心の中で追悼したいと思います。

薫る風

障害のある人の新型コロナウイルスによる死亡率がいわゆる健常者の1・8倍との報道があった(欧米と韓国の七か国での調査)。ショックな調査だ。やっとな入居者等と職員で予防接種を希望する人全員の接種が完了した。優先接種という言葉に期待し、惑わされながらもようやく法人内全てで終了した。更に第6波の感染が減少に転じ、まんえん防止重点措置も解除されたが、これまでの制限(面会時間、滞在時間、人数、外出範囲等)を緩和できる状況にはない。舎内の感染防止対策委員会でも(各施設責任者、看護師始め全職種メンバー)全員の認識が一致した。日弁連のガイドラインに沿って科学的な根拠に基づき必要以上の制限はしないようにしてきたが、万が一のことを思うと、ハラハラどきどきの日々が続いている。予防接種ではその確保に当舎のメディカルスタッフ(看護師)に苦勞をかけた。入居者は入居前の出身市町村が接種券を発行する関係から、市町村で差が出て、ケアスタッフはその調整に苦慮した。設立時より県外からの入居者もおられ、調整は多様だった。職員も同様で、施設の巡回接種、国の大規模接種、かかりつけ医での接種と様々だ。入所施設の入居者が感染したり濃厚接触者になっても確実にすぐに入院できる保証もない。むしろ、初期段階では施設で対応してほしいとの通知が複数回出されている。施設でのクラスター発生の主な要因は、ゾーニングと個人防護具の対応が不十分だったとの検証記録もある。陰圧装置を導入しゾーニングと個人防護具着脱のシミュレーション等をこの数か月繰り返している。一つ一つの判断は科学的根拠に基づく責任あるものでなければ申し訳が立たないが、まだまだ新型コロナウイルスの正体が良くわからない。一瞬たりとも力を抜くことができない日々がまだ続く。(白江浩)

西多賀エリア

【ライフケア仙台ありのまま舎】

ヘルパーの人員が確保できないことから休止していたライフケア仙台ですが、4月からやっと再開することができました。当舎における「ライフケア」は、在宅で暮らされている難病や障害を持つ方の日常生活のケアをする事業を行います。福祉の制度では、「居宅介護」「重度訪問介護」「移動支援」などがそれにあたります。今は、買い物のお手伝いやお部屋の掃除、入浴のお手伝いなどで、利用者のケアを行っています。

再開と同時に様々なケアの利便について、ご本人やご家族、相談支援の事業所などから様々な問い合わせをいただいています。掃除や調理などの支援、目が不自由な方の外出時の支援、買い物等余暇活動のための外出の支援など、中でも突出しているのが、医療的ケア（吸引の対応や胃ろうの対応）が必要な方のケアに入れますか？というものです。

当舎の人員では全てにお答えすることができずにおりますが、少しでも利用者やご家族の思いに寄り添えればと思います。一緒に働いて下さるヘルパーもまだまだ足りません。少しでも関心のある方はぜひご連絡ください。

(中村悦子)

【自立ホーム仙台ありのまま舎リビングセンター】
避難訓練
〜地域の方に参加いただき実施〜

9月30日(木)夜間を想定した避難訓練を実施しました。令和3年度の国から示された方針の中で「災害への対応力の強化等」が盛り込まれ、地域と連携した災害対策の推進として災害訓練の実施等では地域住民との連携に努めることとなりました。今回初めての試みとして地域の方に参加いただき訓練を開催しました。町内会長さんと副会長さん、ホームの隣にお住まいの方にご参加いただきました。

今回も夜間想定で行い、入居者の方にベッドに横になった状態から宿直者1名で6名の入居者の避難誘導を行いました。おひとり避難できる方は外に避難していただきますが、半数の入居者はスタッフの介助が必要です。今回も避難訓練実施前には、おひとりおひとりと打ち合わせを行い、前回との変化や避



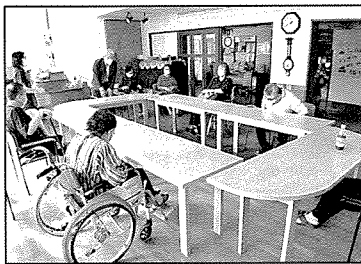
おひとりでの避難が難しい方は外から車椅子で誘導。

難経路の確認をさせていただきました。

終了後、感想をいただきました。「町内会でも地震想定で訓練を行う予定です。今日はスタッフの方が機敏に動いておられる姿がありました。」「入居者の方の様子を見て皆さん心構えをしっかりとされているのを感じました。」「隣の家なので何かあったら力になりたいと思います。」とお話をいただきました。入居者の方もいつもお世話になっているご近所の方のお顔があり笑顔で安心されている様子がありました。

万が一火災が起きた場合は、地域の方の協力は不可欠です。今回初めての試みでしたが、今後もやり方を検討し地域の方と交わりを持って実施していきたいと思えます。

(佐藤環)



ご参加くださった地域の方と入居者と振り返りを行いました。

【サポートケア仙台ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

4月より亘理町のサポートケア県南ありのまま舎と兼務させていただきます。以前仙台市の委託相談支援事業所に携わっておりましたが、離れていた約8年間の間に見える風景に戸惑うこともあります。大きな部分としては、計画相談支援の利用に繋がっていない方が多く、支援機関を中心に利用受け入れのご相談を頂く機会が時々あります。残念ながら、現状としては現在利用いただいている方への支援にしっかりと向き合っていくことに重きを置いた対応となっております。このことは当事業所としての積極的な課題としていきたいと思えます。

岩沼市、亘理町を圏域として支援に携わってきた中で、改めて仙台市の社会資源の多さにプラスの驚きを感じていますが、把握してつなげていくことが利用者支援の実践において大事な部分であることを理解しながら進めていきたいと思えます。

施設入所利用者を中心にしながら、地域生活を実践している方とお付き合いいただいております。ご家族の状況にも触れながら、ご本人の困りごとや希望を共有し一緒に考えていきたいと思えます。

(齋藤栄樹)

贈る人 贈られる人の気持を大切に...



FLOWERED
花のフラワード



オンラインショップでは
24時間ご予約承ります。

<http://www.flowered.jp/>

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま会】

「アクティヴィティケア」

アクティヴィティでの日中の活動は、毎週火・土曜日の午前・午後行っています。また、感染防止対策の一環で、引き続き6〜7人体制でソーシャルディスタンス、三十分ごとに換気など参加入居者・外部利用者に引き続きご協力頂いています。

活動内容も、感染リスクを考慮しつつ、クイズや体操、ボッチャ等の体や頭を使うレクリエーションを取り入れています。コロナ禍において、外部利用者には、ご本人・ご家族からの体調確認のご協力を頂いたうえで引き続き、受け入れを継続しています。

8月には新たに一名が利用開始となりました。ご本人のニーズに合った支援を日中活動・リハビリの双方で日々模索しているところですが、ご本人も利用することによって、少しずつ雰囲気にも慣れてきた様子で活動に参加しております。また、これからは新たな外部利用者の受け入れに向けて進めているところです。

コロナ禍での活動が続いていますが、状況が少しずつ緩和され、入居者・外部利用者により充実した余暇活動を提供出来たらと思います。(榎本勇太)

「チャイルドケア」

仙台ありのまま舎保育園

気持ちの良い秋晴れの下、伸び伸びと身体を動かすことを楽しんでいる子どもたち。ますます秋の深まりを感じているこの頃です。

秋は様々な色の落ち葉や木の葉が落ちていて、一つ一つの発見が楽しくて、子どもたちは夢中になって拾い集めています。

しかし、ただただ集めているのではなく、それぞれ形や色を吟味して集めているので、私たちも一緒に夢中になってしまいます。

落ち葉のカサカサした感触も楽しいですね。沢山集めて、踏んだり、手でくしゃくしゃにしてみたり。くしゃくしゃにしてパリパリと葉っぱがなった瞬間の発見と喜びに満ちた子どもたちの表情は、素晴らしいものです。その表情がまた見たくて、次はどんな発見や感覚を楽しみ遊びがいいかなと保育に邁進している毎日です。

色とりどりの落ち葉や木の葉で遊べるのは、今の季節が一番です。短い期間ですので、ご家庭でも散歩に行きながら楽しんでみてくださいね。写真を撮っておくと、とても良い思い出になりますよ。

(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎】

「難病・障害者相談支援センター」

今回の「相談支援事業所ではこんなこともやっています！」では社会資源開拓とその資料の情報提供についてご紹介します。

日々の相談業務の中では、相談者のニーズを聞き取りながら、その方に合った福祉サービス事業所や訪問リハビリ事業所、病院、美容室などの「社会資源」について情報提供する場面が多々あります。

そのため、新しく参入した事業所の情報を入手したときは、できるだけ事業所の見学を職員さんと面識を深めながら、サービス内容の詳細を確認したり、建物の立地状況、環境、建物内の構造を確認するようにします。

また、見学時に頂いた事業所のパンフレットや資料をサービスごとや地域ごとに分けながらまとめることで、必要時にタイムリーに情報提示できるようにしております。

相談者の皆さんの希望する生活の実現のために、利用できるサービスを迅速にご紹介できるように、今後もネットワークづくりと分かりやすい情報提供を心がけていきたいと思っております。

(澤田石裕子)

県南エリア

【難病ホスピスケア亙理ありのまま会】

「ケア」

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の対応で入居者も外部利用者もスタッフも慌ただしく過ごしていました。幸い、強い副反応が出た方はおらず、安心していきます。感染予防策として、外出後には3日間の居室対応を入居者の皆様をお願いしています。その為、8月から9月初めには居室対応になる入居者が大勢いました。食事介助や入浴対応の変更などで混乱が生じてしまうこともありましたが、何とか乗り切り、皆さん元気に過ごされています。

施設内は秋らしい雰囲気が増えました。服装は長袖を着る日が増えましたし、給食では栗ご飯や秋刀魚の塩焼きが提供されました。廊下には入居者や外部からの利用者が描いた美味しそうな柿の絵が飾ってあります。上手に描かれているので、「食べたくなるね。」とみんなで話しながら眺めています。

コロナ禍で様々な制限が続いていますが、季節の移りを感じ、少しでも施設内での生活が楽しくなるよう試行錯誤しながら毎日を過ごしています。制限付きの生活に慣れつつありますが、一日でも早く解放されて自由に過ごせる日が来ることを切に願っています。

(千葉多美子)

当クリニックは、難病ホスピス太白ありのまま会・自立ホーム仙台ありのまま会の入居者の健康をサポートします。

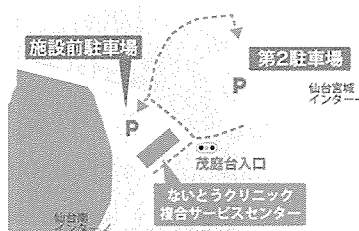
茂庭台
ないとうクリニック
院長 二井谷 友公

(診療科目) ●内科 ●小児科

電話 (022) 281-5490

診療時間

- ◆月～木曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～5:00
- ◆金曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～4:45
- ◆土曜日
午前 9:00～12:00
- ◆休診日 日曜日・祝日



※ 診療時間についてはお問い合わせ下さい

【サポートケア巨理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

巨理町では障害者相談支援事業所の皆さんと年五回、相談支援事業所連絡会を開催しております。相談支援事業所連絡会では主に事例検討を行い、また、新規事業所等をお招きし事業の案内や相談員同士の情報共有なども行なっています。そのようなか、事例検討では高齢のご家族とご本人、そして兄弟がひきこもりという事例が提出されました。この事例を考えるにあたり現段階におけるニーズへの支援と将来的なご家族の生活を想定しながら支援を組み立てるという視点が求められ、また、高齢の母親という家族状況から介護分野と障害福祉との連携も重要な取り組みとなります。

内閣府調査(二〇一九)では四〇から六四歳のひきこもり状態は全国に六一万人いると推定されており、中高年のひきこもりの方が長期化すること、高年齢化が課題となり、早期に取り組んで行かなければならない重要な課題と言えます。また、社会的ひきこもりから二次的に精神症状の症候が顕在化し、より状況が深刻化する場合があります。

ました。相談支援事業所連絡会と自立協を連動させながら地域課題を多職種連携で解決して行ければと思います。(菊地理)

【サポートケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

先月、岩沼市の相談支援事業所職員を対象とした権利擁護に関する事例検討会に出席させていただきました。

この事例検討会は、各相談員の質の向上を目的として毎回宮城福祉オンブズネット「エール」の方をスパーバイザーとしてお招きし、参加する相談員の方々と一緒に支援の糸口を模索しながら解決方法を見つけていくという内容となっています。

今回参加させていただき、改めて支援の中での困難さをどう整理するのかに気づかされました。また如何に自分の固定概念で物事を考えてはいけないことや実は支援を困難にさせているのは関係機関であるかもしれない等と言った様々な支援についての助言を参加した皆さんからいただきました。これから支援するにあたり、相談者の自己決定やご本人の能力が発揮できるように働きかけていくことを大切にしていきたいと思っております。(蒲生豊二)

ありのまま舎後援会 (敬称略)

21 8/22・25/15

【2021年度個人会費】

以上一口

【2021年度法人会費】

【2021年度賛助会費】

【新規で「入会】



【会員の皆様からたくさんメッセージをいただきました。】

「応援しています!」「ありのまま舎の皆様、これからもがんばって!」「この夏は寒暖差が大きく体調も「いまいち」ですが、何とか自分を奮い起たせています。皆様もどうぞお気をつけてお過ごし下さいませように。」

全国の皆様より会費やメッセージを頂戴しありがとうございます。大きな励みです。(事務局 佐藤環)

【後援会員を募集しています】

- ◆個人会員 10,000円
 - ◆法人会員 20,000円
 - ◆賛助会員 3,000円
- 途中退会も可能です。

【お申し込み】

会報「自立」に同封の郵便振替用紙に「後援会」とご記入ください。

お気軽にお問い合わせいただけます。

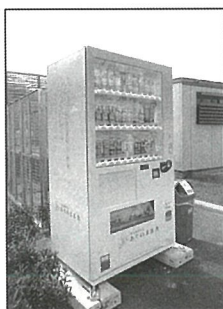
【お問い合わせ先】

ありのまま舎
022(243)1300
(担当 佐藤)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
8月分の売上の一部を寄付頂きました。

- ◆こくみん共済coop
宮城推進本部 1,362円
- ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア県南・巨理ありのまま舎) 15,036円
- ◆株式会社ミチノク
21 4/6月分売上
寺嶋建設工業株式会社 11,896円
- 県南エリアコミュニティ地域生活支援拠点 11,977円
- 日下亜弥様 1,929円



ありのまま舎の文字が入った自動販売機を施設や会社に設置しています!

宮沢賢治文学会イーハトーブ
センター功労賞 受賞！
協力者 佐々木孝夫さん

当舎の協力者で故山田富也専務理事の古いご友人の佐々木孝夫さんが「宮沢賢治文学会イーハトーブセンター功労賞」を受賞されました。この賞は、宮沢賢治の存在と作品に触発され、多年に渉り様々な普及や研究活動を重ねてきた個人または団体を顕彰するために2016年に設立されました。

佐々木さんは宮沢賢治に関わるSPレコードの復刻録音をCD5枚(72曲)に収録し、未詳だった楽曲のモデルを発掘し、ブログも活用しながら、宮沢賢治が愛好した音楽を紹介してきた活動が認められ顕彰されました。

宮沢賢治と山田富也専務理事の命日は同じ9月21日と教えて下さった佐々木さん。偶然のつながりがあり、命日にはいつも自立ホームに足を運んで下さり、製作されたCDを山田富也専務理事に届けて下さっています。佐々木さんは現在も宮沢賢治の歴史をたどり研究を続けられています。この度は受賞おめでとうございます。

◆CD等のお問い合わせはありのまま舎へ(担当 佐藤)

022(243)1300

「支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

21 8/26〜9/25

(鈴木一彦)

【バザー提供】

21 8/26〜9/22

【ショップ提供】

(栗原市) 有限会社アルコン

(川尻誠)

【バザー品集めています】

- ◆未使用雑貨
- ◆未使用タオル
- ◆食費類

その他のお品物については、お気軽に「連絡下さい」。

022(243)1300

「ボトルカンパありがとうございます
ございました(敬称略)」

21 8/26〜9/25

サンマリ向山店(太白区)

8,405円

昨年に引き続きまして皆様からの温かなお支えをお寄せ頂きました。地域密着の老舗SPAで、私どものカンパボトルも長年ご設置頂き大変嬉しく思っております

【バザー開催日のご案内】

《10月》

28日(木)鶴ヶ台生鮮いちば

(宮城野区)

30日(土)シニアホール

(仙台ありのまま舎)

《11月》

2日(火)ヨークハル山田鈎取店

(太白区)

4日(木)ヨークマルシェ大和町店

(若林区)

9日(火)ヨークハル南吉成店

(青葉区)

11日(木)鶴ヶ台生鮮いちば

(宮城野区)

16日(火)ヤマザフ成庭店

(太白区)

25日(木)鶴ヶ台生鮮いちば

(宮城野区)

27日(土)シニアホール

(仙台ありのまま舎)

30日(火)袋原(向日)センター

サポートセンター・太白区

「協力ありがとうございます
ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。コロナ禍の中、対策を取りながらのお手伝い感謝いたします。

◆会報の折り込みは、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北三番丁教会、仙台宮城野教会の皆様にお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様にも体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会でも、同じくコロナ予防対策を行いながら、各会場やショップセールでお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

コロナ感染症予防の対策のため、現在来舎して行なっていた全体的なヴォランティアをお休みいただいております。◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」◆仙台シルバネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)の皆様、安心してまたお会いできる日が一日でも早くやってくるようにと願っております。

(中村悦子)

クリスチャンの「街の法律家」があなたの「困った！」にお手伝いします



行政書士 荒井 美穂 (日本基督教団名取教会 会員)
022-393-8634 mharai_gyousei@outlook.com

行政書士 工藤 正剛 (日本基督教団仙台宮城野教会 会員)
090-2794-3763 s-kudoh@ivory.plala.or.jp



<主な業務> まずはご連絡下さい!

相続・遺贈手続支援 著作権・成年後見・自動車登録関係などのご相談も承ります

車両購入基金達成に

多くのメッセージが寄せられました!

会報「自立」9月号に車両購入基金達成のご報告をさせていただきました。たくさんの方からメッセージをいただきました。一部をご紹介します。

「この度は車両購入基金が無事集まりましたこと、ご丁寧なお便りで御報告をいただき心より御礼申し上げます。随分以前、一度だけ東京より難病ホスピスケア太白ありのまま舎に伺い、お忙しい中対面でお話を伺えた日のことをいつも貴い経験として懐かしく思い出しております。」

「思っていたより早く達成できた事良かったですね。皆様の努力のおかげですね。自立はたのしみに見ております。」

「車両購入の件を「自立」で拝見し思うように寄付金が集まらないことを知りました。そしてこの国は「ありのまま舎」のような精一杯頑張っているところに、必要な車を調達し下さることもできないのかと憤りを覚えました。この度ようやく車を購入することができて目には見えないささやかな気持ちの集まりが「車両」とう形に見える物になって役立つのは嬉しいことです。」

皆様から多くのご支援をいただき、目標を達成できたと共に、さらに大きな勇気や励み力が became こと。とても大きな励みとなりました。そして本当に心から有難く感謝申し上げます。



「ありのまま舎運営協力寄付金」

